

秋田駒ヶ岳の火山活動解説資料

仙台管区气象台
火山監視・情報センター

＜噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）が継続＞

本日（18日）、陸上自衛隊の協力により実施した上空からの観測では、女岳^{めだけ}の山頂北部、北斜面、北東斜面、南東火口の地熱域¹⁾の拡がりに変化はなく、噴気の状態にも変化はありませんでした。

山頂付近を震源とする火山性地震は15日以降観測されず、その他のデータにも変化はなく、火山活動に活発化の兆候は認められませんでした。

長期的には、地震活動は概ね低調で、地殻変動及び噴気活動に変化はみられませんが、女岳では、2009年以降拡大した地熱域が引き続き認められていますので、今後の火山活動の推移に注意が必要です。

噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 1～4、図 5-①）

本日（18日）、陸上自衛隊の協力により実施した上空からの観測では、前回（2015年1月21日）の観測と比較して、女岳の山頂北部、北斜面、北東斜面、南東火口の地熱域の拡がりに変化はなく、噴気の状態にも変化はありませんでした。

東北地方整備局が設置している監視カメラによる観測では、女岳からの噴気の高さは概ね 10m以下で経過しました。

・地震や微動の発生状況（図 5-②③）

秋田駒ヶ岳では、12日から14日にかけて火山性地震がやや増加しましたが、15日以降、山頂付近を震源とする火山性地震は観測されていません。

火山性微動は観測されていません。

・地殻変動の状況

火山活動によると考えられる変化は認められていません。

- 1) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を感知して温度分布を測定する測器です。熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

この火山活動解説資料は、仙台管区气象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土交通省東北地方整備局、国土地理院、東北大学のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平26情使、第578号）。

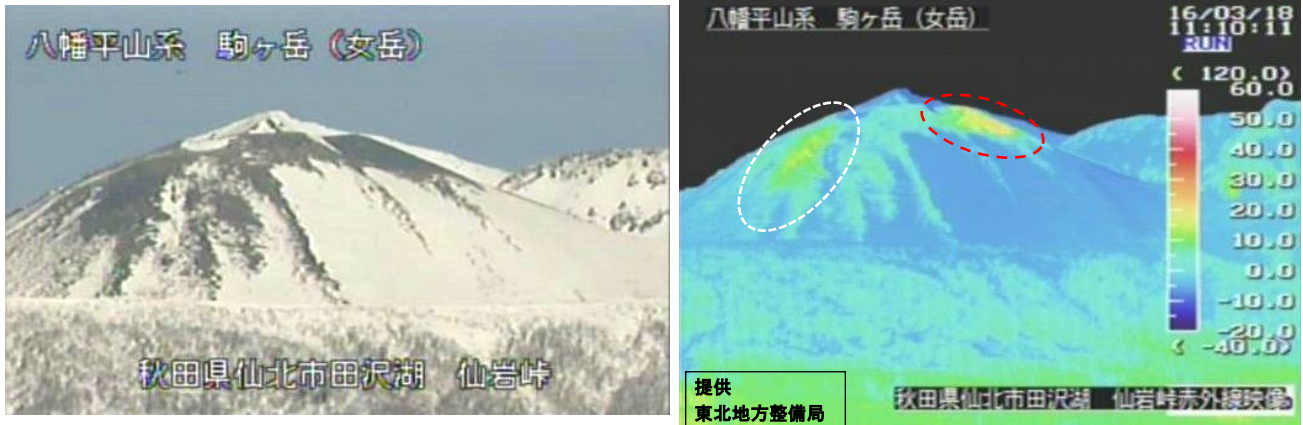


図1 秋田駒ヶ岳 女岳からの噴気の状態 (2016年3月18日11時10分頃)

- ・東北地方整備局が仙岩峠(女岳山頂の南約5km)に設置している監視カメラによる映像です。
- ・女岳からの噴気は確認されていません。
- ・地熱域(赤破線)の状況に変化は認められません。
- ・白破線領域は、岩などが日射により温められたことによるものと推定されます。

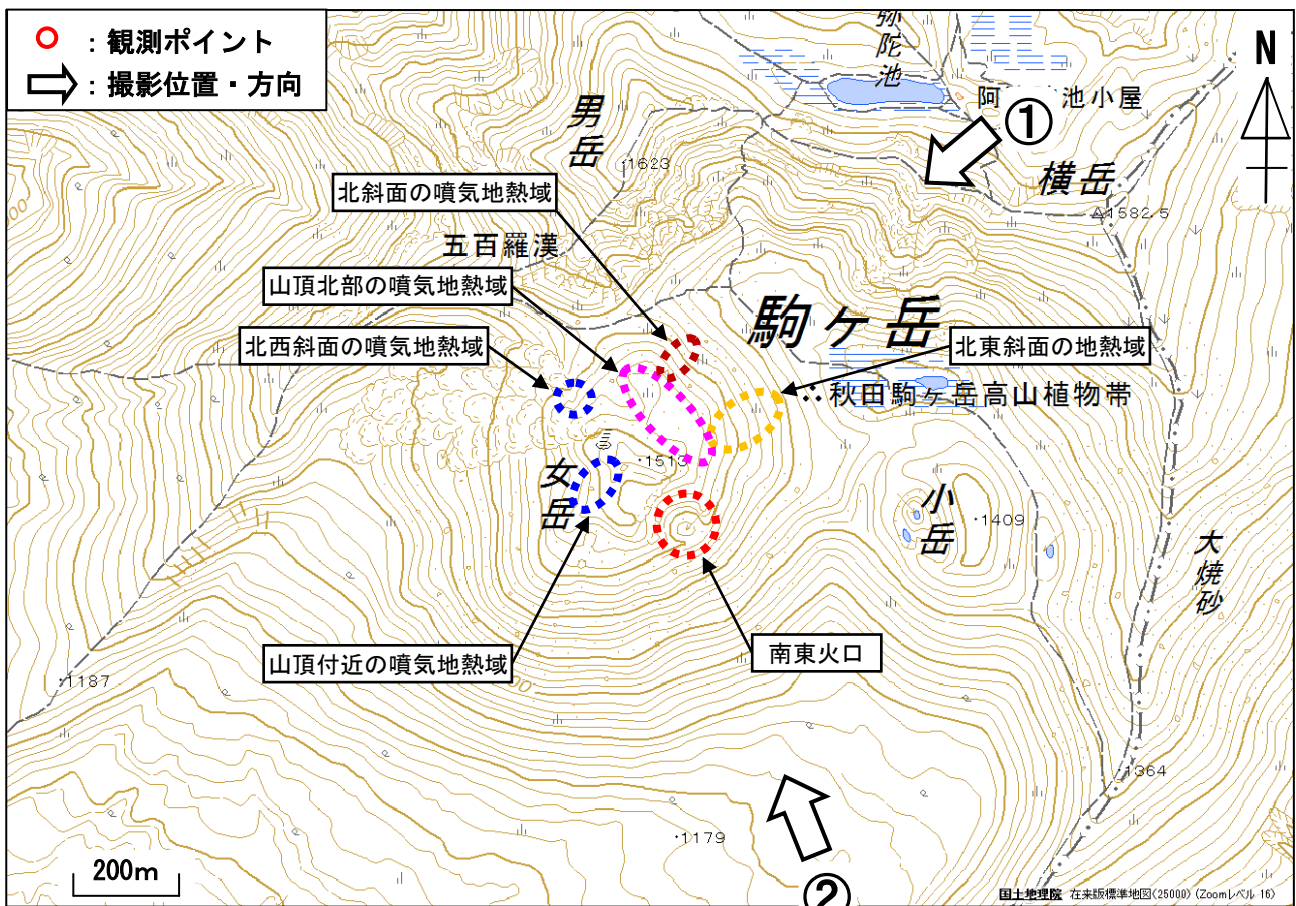
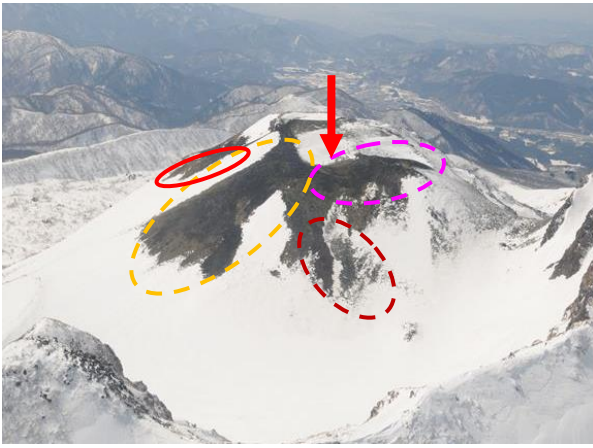
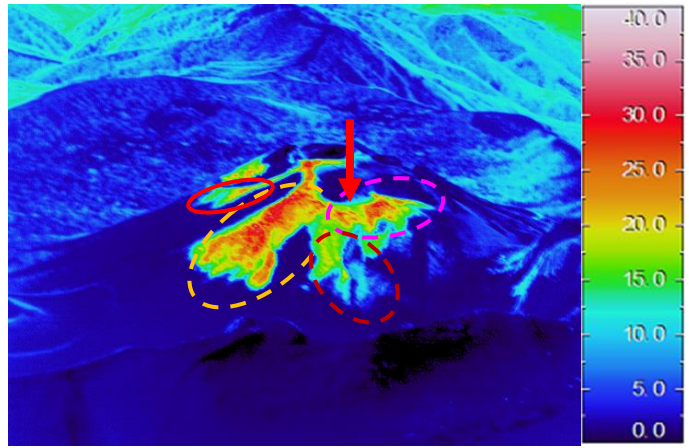


図2 秋田駒ヶ岳 女岳の地熱域の分布及び上空からの地表面温度分布撮影位置・方向

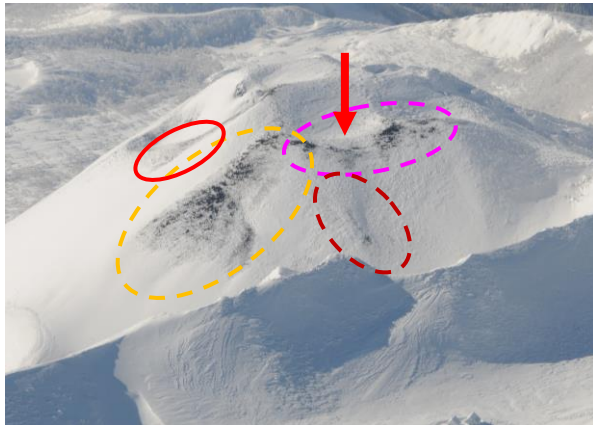
- ・図中の①は図3、②は図4の撮影位置と方向を示します。



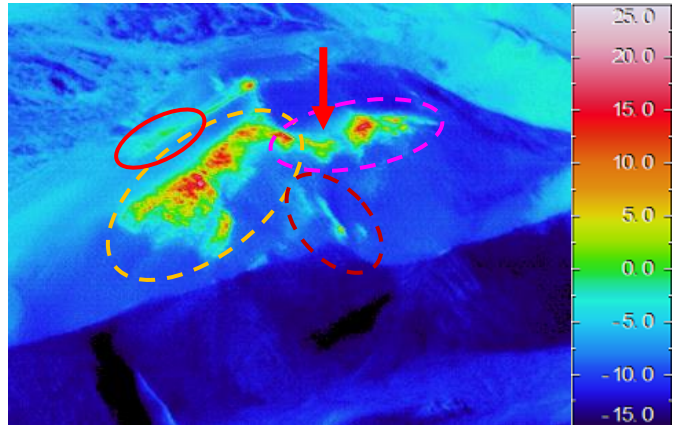
2016 年 3 月 18 日 10 時 48 分



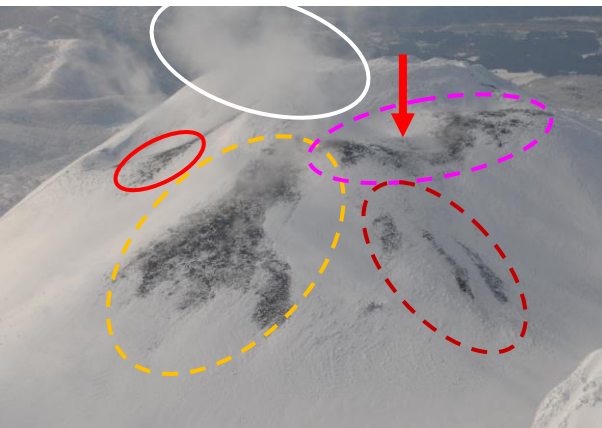
2016 年 3 月 18 日 10 時 48 分 天気：晴



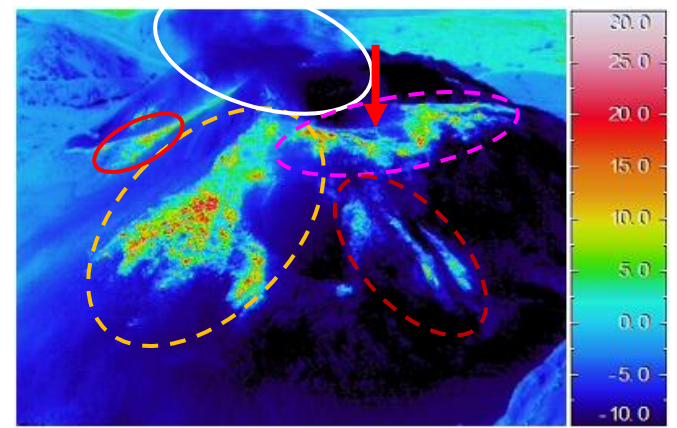
2015 年 1 月 21 日 10 時 54 分



2015 年 1 月 21 日 10 時 54 分 天気：晴



2013 年 12 月 9 日 11 時 25 分

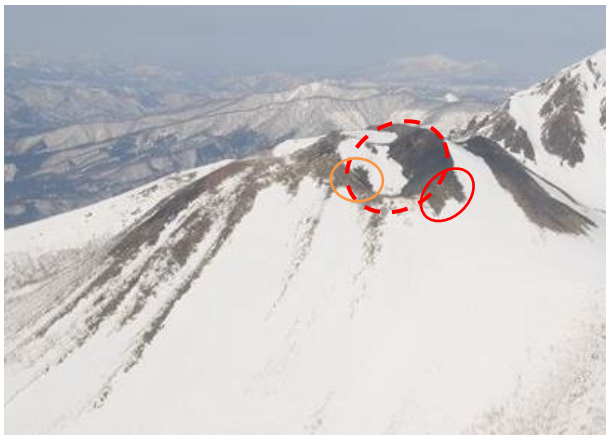


2013 年 12 月 9 日 11 時 25 分 天気：晴

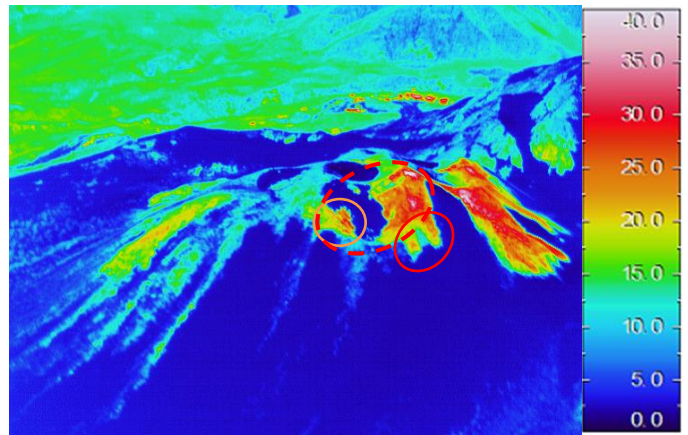
図 3 秋田駒ヶ岳 北東斜面、北斜面、山頂北部の状況と地表面温度分布

- ・陸上自衛隊の協力により撮影しました。
- ・図中の破線の色は図 2 に対応します。
- ・2013 年 12 月 9 日の噴気の高さは、噴出域から 50m です（白実線）。
- ・今回（2016 年 3 月 18 日）の観測では、2015 年 1 月 21 日及び 2013 年 12 月 9 日と同様に、地熱の高い領域が引き続き確認されました。
- ・2011 年 12 月 13 日から 2013 年 12 月 9 日にかけて地熱域が拡大した北斜面（茶破線）、南東火口縁外側（赤実線）、山頂北部の一部（赤矢印）では、今回の観測においても引き続き地熱域が確認されました。

※地表面温度分布図に見られる地熱域以外の周囲より温度の高い部分は、岩などが日射により温められたことによるものと推定されます。今回の観測では、過去 2 回に比べて積雪が少なく、日射の影響もあって地熱の範囲が拡大して見えますが、特段大きく変化はしていません。



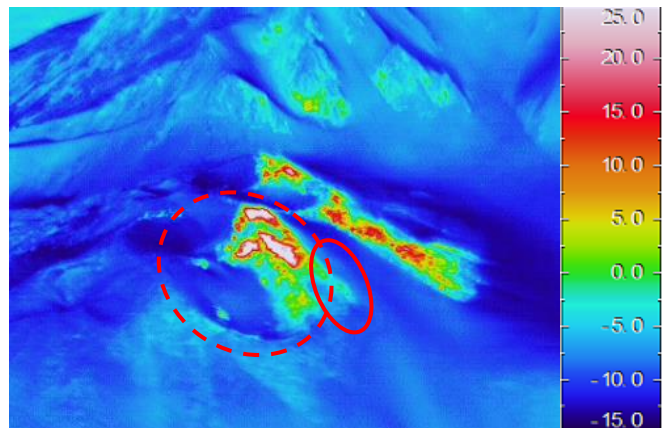
2016 年 3 月 18 日 10 時 46 分



2016 年 3 月 18 日 10 時 46 分 天気：晴



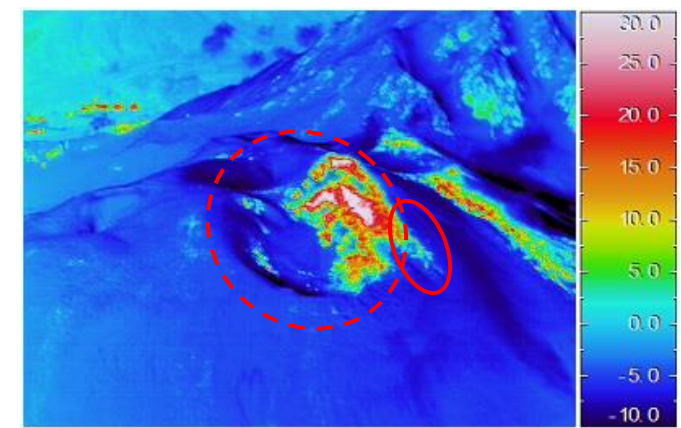
2015 年 1 月 21 日 10 時 58 分



2015 年 1 月 21 日 10 時 58 分 天気：晴



2013 年 12 月 9 日 11 時 31 分



2013 年 12 月 9 日 11 時 31 分 天気：晴

図 4 秋田駒ヶ岳 南東火口の状況と地表面温度分布

- ・陸上自衛隊の協力により撮影しました。
- ・南東火口（赤破線）の火口縁外側で、2011 年 12 月 13 日から 2013 年 12 月 9 日にかけて拡大した地熱域（赤実線）は、今回の観測においても引き続き確認されました。
- ・南東火口内の南側では、2014 年 6 月にわずかな拡大が確認された地熱域（橙実線）は、今回の観測においても引き続き確認されました。

※地表面温度分布図に見られる地熱域以外の周囲より温度の高い部分は、岩などが日射により温められたことによるものと推定されます。

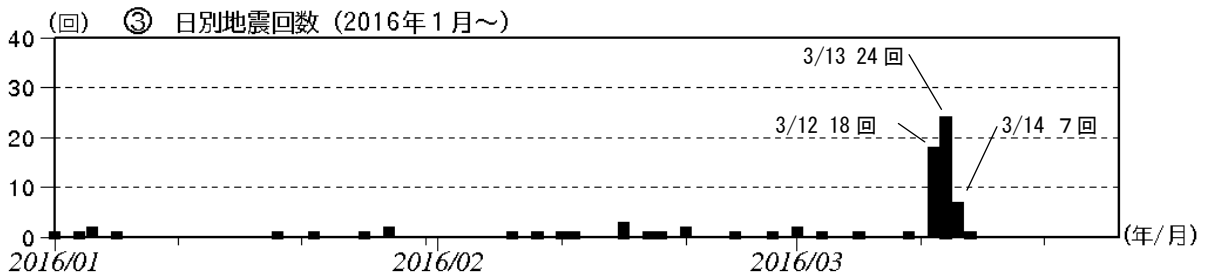
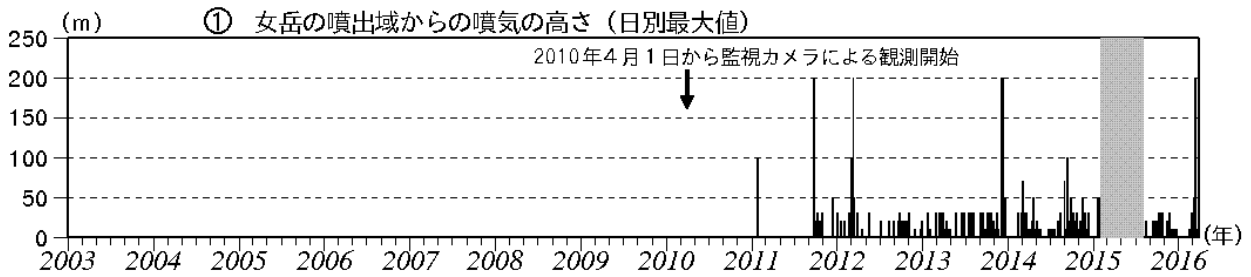


図5 秋田駒ヶ岳 火山活動経過図 (2003年～2016年3月18日14時)

- ・①仙岩峠に設置されている監視カメラ (東北地方整備局) による観測です。
注1) 観測開始の2003年6月9日から東北大学秋田駒ヶ岳観測点を基準としていましたが、2012年4月1日から八合目駐車場を基準としています。
- ・①②の灰色部分は欠測を表しています。
- ・値は速報値を含んでおり、精査後修正する場合があります。

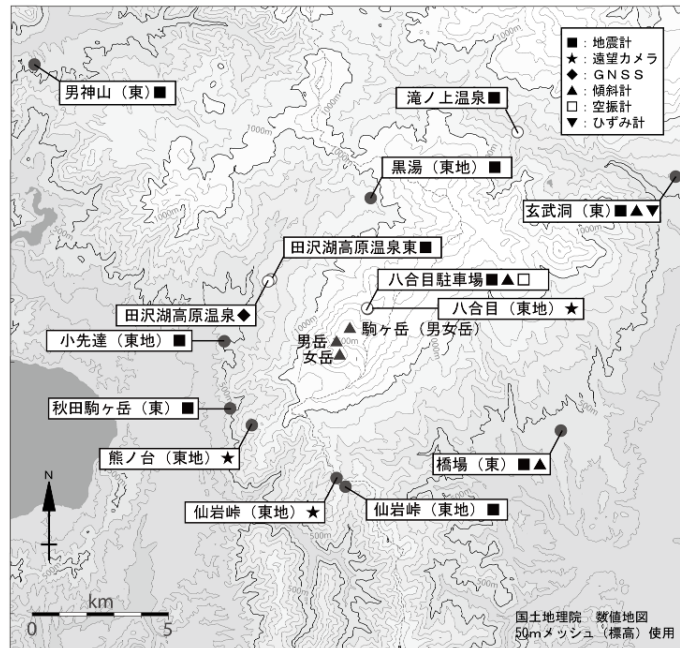


図6 秋田駒ヶ岳 観測点配置図

小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点の位置を示しています。
(東) : 東北大学 (東地) : 東北地方整備局